



平成27年度
第1回三重県
経営戦略会議

平成27年6月4日

「新しい豊かさ」とその実現に向けて

目次

	(頁)
1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. なぜ今「新しい豊かさ」を考えるの？・・・・・・・・	2
3. 「みえ県民意識調査」の結果わかったこと・・・・・・・・	3
4. 「新しい豊かさ」を実現できる？・・・・・・・・	7
5. 三重県の特性や資源・・・・・・・・	8
6. 三重ならこんな“新しい豊かさ”が実現できる ～県民力を結集して、「新しい豊かさ」が実現できる 三重づくりに挑戦～・・・・・・・・	14
7. 「新しい豊かさ」の実現に向けて・・・・・・・・	19

1. はじめに

みえ県民カビジョンでは、新しい三重づくりを、県民力による「協創」で行うことを提案するとともに、「新しい豊かさ」の考え方を提唱し、それは、自ら力を発揮する機会を見だし、主体的に社会づくりに関わることで得られるもの、としています。

三重県は、美しい自然や多彩な歴史・文化、高度な産業の集積を有し、さまざまな資源や魅力にあふれる、極めて多様性に富んだ地域です。

この三重県の大きな特性である多様性を「新しい豊かさ」の実現につなげていくことが重要であり、今後さらに検討を深め、次期行動計画において考え方を示したいと考えています。

【論点】

今回提示する「新しい豊かさ」の考え方について、大局的な視点からご意見をいただきたい。また、そのために県として具体的にどんな取組を進めるべきか、ご意見をいただきたい。

2. なぜ今「新しい豊かさ」を考えるの？

次期行動計画では、県民の皆さんとの「協創」を一層進め、「新しい豊かさ」を実現できる三重づくりに挑戦していきたいと考えています。

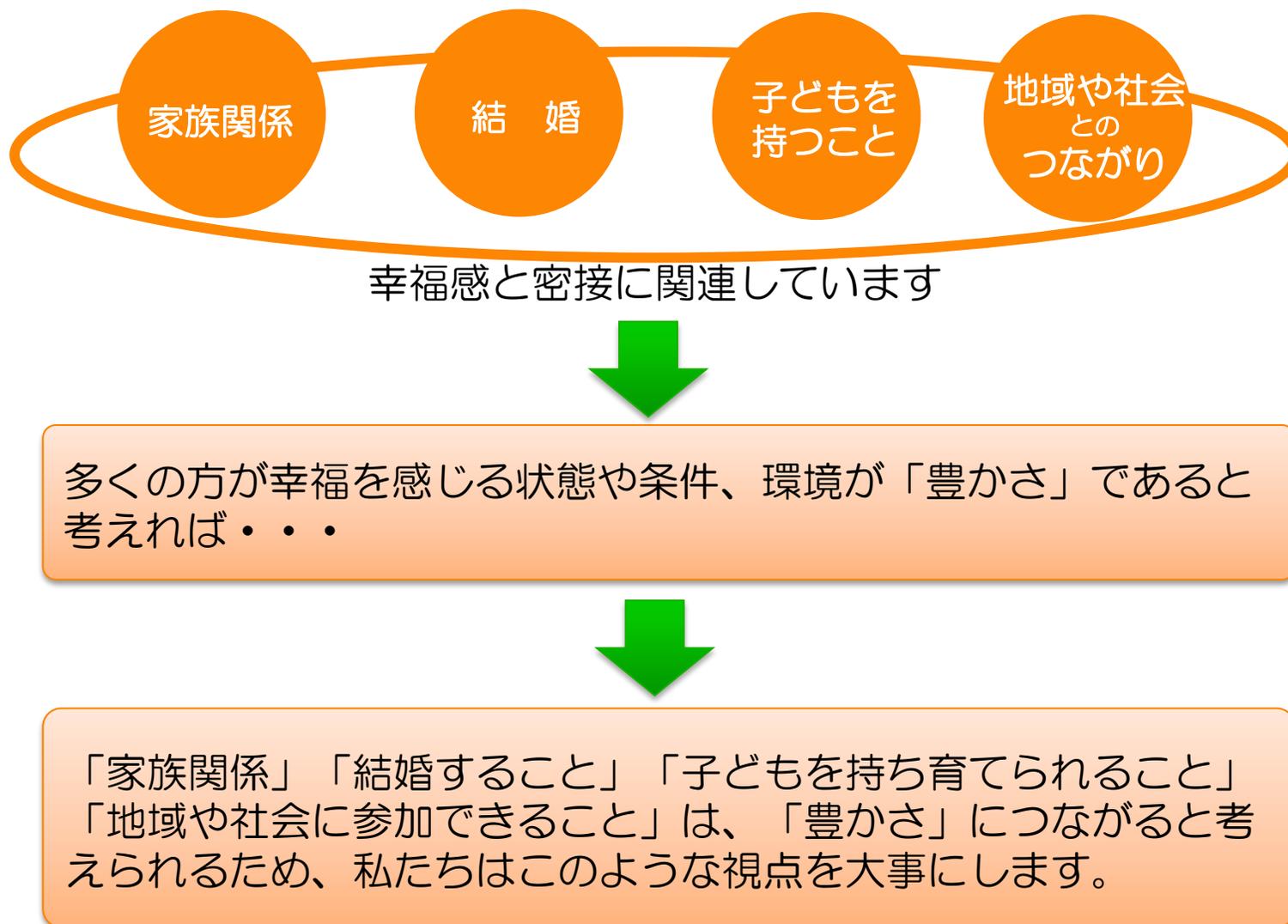
私たちは、「新しい豊かさ」を「経済的な豊かさに加え、精神的豊かさや生活の質的豊かさを実感できる成熟社会にふさわしい豊かさ」ととらえています。しかし、県民の皆さんとの「協創」をもっと進めるためには、この「新しい豊かさ」の考え方をさらに深め、県民の皆さんが共感できるかたちで示す必要があります。

考え方を深めるための情報として・・・・・・・・



**みえ県民意識調査をとおして、
いろいろわかってきました！**

3-1. 「みえ県民意識調査」の結果わかったこと（その1）



3-2. 「みえ県民意識調査」の結果わかったこと（その2）



幸福感と関連しています

- 子どもを持って働きたいと望む女性が多い
- 専業主婦や高齢者は、収入にかかわらず働きたいという意欲を持っています



必要な収入が得られる安定した仕事に加え、ライフステージやそれぞれの希望に応じた柔軟で多様な働き方を選択できる社会の実現を、私たちはめざします。

3-3. 「みえ県民意識調査」の結果わかったこと（その3）

働きたい人が仕事につき、必要な収入を得ている

一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている

実感していない層の割合が高い

就労や収入、社会参画の観点で、不安や問題を抱え、将来の夢や希望を持つこと自体が難しい状況にある方もいると考えられます。

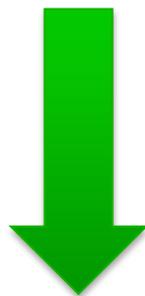
すべての県民が夢や希望に向けて行動できるよう、必要なサポートが得られる社会の実現を、私たちはめざします。そのため、私たちは「寄り添い、支え合う県政」をめざします。例えば子育てなどに不安を抱える方々の声をいつでも、どんなことでもお聞きし、何ができるのかを一緒に考えます。

3-4. 「みえ県民意識調査」の結果わかったこと（その4） ～自由記述意見から～

- 育児休暇を取得し子育てしているが、保育所に空きがなくて仕事に復帰できない。子育てしながら女性が働ける環境整備をしてください。
- 地元の高校、大学を卒業したけど、地元で働きたいところがない。若者の働く場所を増やしてほしい。
- 職場でキャリアを積んできたのに、病気の親を預かってもらう施設が見つからず、介護のために仕事をやめなければならない。
- 県外の企業に就職、或いは、大学に進学して、Uターンしたいけど、就職先が見つからない。
- 通院や買い物などに利用できる公共交通機関がなく、今はやむを得ず車で移動しているが、高齢であり将来を考えると大変不安。
- 一人で働いて子どもを育てており、収入が十分でないうえに仕事も休めないため、生活に余裕がなく、子どもにも辛い思いをさせている。
- 障がい者が働ける場所を確保してほしい。障がい者のことをもっと理解してほしい。気軽に相談できたらいい。

4. 「新しい豊かさ」を実現できる？

三重県は、美しい自然や多彩な歴史・文化、高度な産業の集積を有し、さまざまな資源や魅力にあふれる、きわめて多様性に富んだ地域です。この三重県の多様性は、他に誇れる大きな特性であり、「新しい豊かさ」を実現しうる大きな可能性を持っていると考えています。



「新しい豊かさ」を実現できる
三重県の特性とは・・・

5-1. 三重県の特性や資源 ①日本における豊かさの変遷と三重の関わり

我が国における豊かさの変遷と三重の関わりを、時代の大きな流れの中で見ると、神話の時代から三重はその時々「新しい豊かさ」を追い求める舞台の中心にいたといえるのではないのでしょうか。

ココロの豊かさを求める人の割合が6割以上*。一方生活の低下感を感じている人は増加、貧困・格差問題が浮き彫りに。
遷宮で過去最高の1400万人がココロの豊かさを求めて伊勢へ。

モノの豊かさからココロの豊かさへと言われ始める。
四日市公害問題を克服

欧米列強に負けない富んだ国へと国の豊かさが重視される。

非日常の豊かさを求め全国からおかげまいり。
全国の情報が入り、経済的にも文化的にも発展。

たびたび飢饉がおき、食料を得ることが豊かさ

神話の時代、長寿と富を与えてくれる常世として豊かさの象徴

古代～中世

- 伊勢平氏、武士の台頭
- 690 伊勢神宮の式年遷宮が始まる
- 三重県域は伊勢国・伊賀国・志摩国・紀伊国からなる。志摩国は「御食国」として重要視。
- 3万～1万年前 県内で人々の生活始まる。

江戸時代

- 1830 おかげまいりで約500万人が伊勢に来訪
- 庶民の伊勢参宮が人気に
- 伊勢商人の活躍

明治時代

- 1889 市制町村制で1市18町317村
- 1876 三重県と度会県が合併、現在の「三重県」誕生
- 1876 伊勢暴動(地租改正反対運動)
- 1868 明治維新

昭和時代

- 1959 伊勢湾台風
- 1954 大合併で69市町村
- 1945 第2次世界大戦終

高度経済成長期

- 1968GNP世界2位
- 1964東京五輪
- 四日市公害問題

2000年代

- 2013 伊勢神宮式年遷宮
- 2004 熊野古道が世界遺産に
- 2011 東日本大震災
- 2004 大合併で29市町に
- 1995 阪神・淡路大震災
- 1987 一人あたりGDP世界一
- 1973・79 石油ショック

※内閣府 国民生活に関する世論調査から

5-2. 三重県の特性や資源 ②豊かで多様性に富んだ自然環境

- 日本列島の縮図、三重を北限・南限とする生物、美しい景観（リアス式海岸）、日本の原風景（伊勢平野 田園）
- 伊勢志摩国立公園は、国立公園の中で最も定住人口が多い
→豊かで多様性に富んだ自然環境は、健康的な住まいと暮らしにつながります



御在所岳



リアス式海岸



名張川の鮎釣り



丸山千枚田



大台ヶ原



英虞湾



宮川堤防沿いの桜



香良洲海岸の潮干狩り



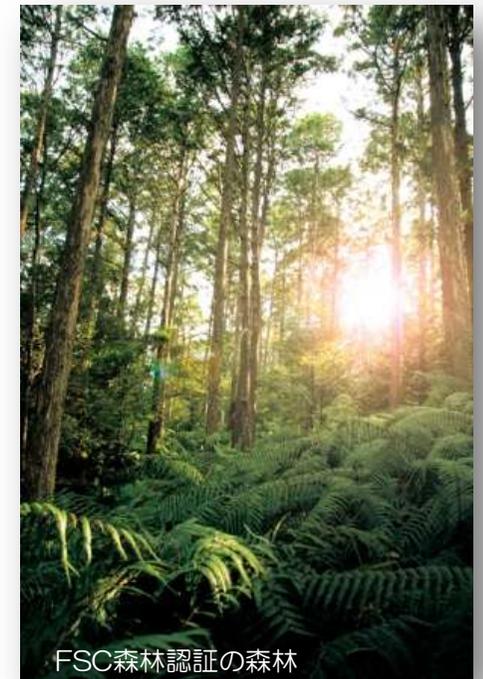
宮川



伊勢平野 水田

5-3. 三重県の特性や資源 ③さまざまな暮らし、さまざまな生業

- 俳諧（松尾芭蕉）、忍者、海女漁など、さまざまな資源、自然の恵みを生かした農林水産業
- 歴史上、都に近い、信仰（伊勢・熊野）と商業の拠点、東西交流の結節点、陸海の交通の要衝
- 三井高利など伊勢商人の商圈ネットワーク、本居宣長の情報発信・文化人との交流
→歴史や資源は、多様なライフスタイル（生業・ビジネス）や人・地域のネットワーク拡大につながります



5-4. 三重県の特産や資源 ④古くから選ばれ、受け入れ共存してきた歴史

- 倭姫命（やまとひめのみこと）の巡行のすえ伊勢鎮座、朝廷に海の幸、山の幸を貢進してきた御食国（みけつくに）
- 伊勢と熊野を結ぶ祈りの道（熊野古道）
- おかげ参りへのおもてなしの精神、伊勢神宮（神道）は他者を排除するのではなく、受け入れ共存
→国内外から多くの人が集い、活気が生まれます。交流が深まり、新しい価値の創造につながります



伊勢えび



松阪牛



伊勢茶



伊勢神宮



斎王



伊勢うどん



めはりずし



てこねずし



熊野古道センター



熊野古道

5-5. 三重県の特性や資源 ⑤世界に貢献できる、世界をリードできる力

- 常若の精神（技術継承・イノベーション）、御木本幸吉の世界に誇る技術確立、最先端技術を有するものづくり産業集積
- 公害を克服した経験から新興国の環境問題に対する国際貢献
- 尾崎行雄や沢村栄治など世界に誇る偉人、吉田沙保里など世界で活躍する人材輩出
- F1開催（鈴鹿サーキット） 聖地（世界遺産熊野古道や伊勢神宮）
→世界に誇る三重の力は、県民の夢や希望を後押しし、自己実現につながります



御木本幸吉



全国有数の食品メーカー多数



鈴鹿サーキット F1



吉田沙保里さん



東海地域最大規模の植物工場

モノづくり産業をけん引するリーディング産業が集積

5-6. 三重県の特性や資源 ⑥絆で支えあう住みよい地域

- 「子育て」「子育て」、高齢者福祉を行うグループ、いろいろな悩みや心配ごとを持ち一人で苦しむ人たちの電話相談を行うグループ、「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」
- 子どもの生き抜く力を育てる「育児男子」の育成
- 障がい者の自立に向けたチャレンジを支援するステップアップ・カフェCotti菜（こっちな）
→家族や地域の方々の支えあいにより、安心して暮らすことができ、日々の生活が厳しい状況でも明日への一歩を踏み出すことができます。



ソフリエみえ（子育て支援）



障がい者が働く
レストラン・カフェCotti菜

みえの育児男子プロジェクト推進中



NPO福祉ネットどんぐり
（高齢者等の健康増進活動）



マザーズライフサポーター
（母親の子育て支援）



みえの育児男子ベストショット賞
受賞写真から

6-1. 三重ならこんな“新しい豊かさ”が実現できる（その1） ～県民力を結集して、「新しい豊かさ」が実現できる三重づくりに挑戦～

三重なら、いろんな暮らし・自分らしい生き方が 選択できます。

- 結婚してあたたかい家族関係を築くことができます。
- 女性が、子育てをしながら希望の仕事が続けられます。
- 生まれ育った地域で自分の能力を発揮できる仕事に就けます。
- グローバル企業の一員としてやりがいのある仕事に就きながら、自然が豊かな環境にあるマイホームで、生活を楽しむことができます。

6-2. 三重ならこんな“新しい豊かさ”が実現できる（その2）

～県民力を結集して、「新しい豊かさ」が実現できる三重づくりに挑戦～

三重なら、みんなで支えあうことで、将来に対して不安を感じることなく、安心して暮らすことができます。

- 医療、福祉が充実し、高齢者や健康に問題を抱える人が安心して暮らすことができます。
- 障がい者などが自立に向けてチャレンジできます。
- 地域の自主防災の取組が進み、どこに住んでいても災害に対する不安を感じることなく暮らすことができます。
- 里親が増え、子どもたちが家庭的な養護を受けられます。
- 悩みや心配ごとを抱えて苦しんでいる人たちが、孤立せずに暮らすことができます。

6-3. 三重ならこんな“新しい豊かさ”が実現できる（その3） ～県民力を結集して、「新しい豊かさ」が実現できる三重づくりに挑戦～

三重なら、家族や地域・人との絆・つながりを 感じながら暮らすことができます。

- 豊かな自然の中で子育てし、親の近くに住みながら、アクセスの良さから名古屋圏・関西圏での仕事を選ぶこともできます。
- 子育て・子育て支援や、地域活性化に取り組むグループなどの活動により、絆を感じながら暮らすことができます。
- 地域の人たちが大切にしている伝統行事や祭り、イベントなどに参加することで、絆を深め、住むまちに愛着を感じながら暮らすことができます。
- 移住した地域で、人とのつながりや温かさを感じながら、生活に不便を感じることなく、多様な暮らし方ができます。

6-4. 三重ならこんな“新しい豊かさ”が実現できる（その4） ～県民力を結集して、「新しい豊かさ」が実現できる三重づくりに挑戦～

三重なら、五感で感じ、癒しのある暮らしができます。

- 豊かな自然の中で、海の幸・山の幸を楽しむ暮らしが送れます。
- 伊勢神宮の森、熊野古道、宮川の清流などを訪れ、癒しのある暮らしができます。
- 海のレジャー、山のレジャー、どちらも気軽に楽しめます。
- 三重県に移住して、地域で農業や漁業、芸術など自分のやりたい仕事に就き、大自然の中で暮らすことができます。

6-5. 三重ならこんな“新しい豊かさ”が実現できる（その5）

～県民力を結集して、新しい豊かさが実現できる三重づくりに挑戦～

三重なら、自己実現に向けて何度でも挑戦できます。

- 高齢者が自分の知恵や経験を生かし、社会貢献することで、生きがいのある人生を送ることができます。
- 生まれ育った家庭の経済状況等に関わらず、自らの努力に応じ高校や大学に進学ができます。
- 就職や起業に失敗しても、意欲や能力を生かして、新たなチャレンジができます。

7-1. 「新しい豊かさ」の実現に向けて・・・（その1）

三重県の特長や資源

- 東西の食文化の結節点（境界線）
 - * どん兵衛
 - * 餅（角餅・丸餅）
 - * 海苔（焼き・味付）
- 食の宝庫
- 食品製造事業所が多い
- 食の職人を育成する高校



三重県等の取組

- 「みえフードイノベーション」（産学官の知恵や技術を集結し、融合することで、県内の農林水産資源を活用した新たな商品又はサービスの開発など）
- 「食のバリューチェーン」（事業者等が連携、有機的に連結し、消費者に確実に提供）
- 世界へ情報発信
 - * ミラノ国際博覧会
 - * 全国菓子大博覧会



めざす姿（「新しい豊かさ」につながるイメージ）

- 県内の皆さんが、生まれ育った地域で、生産～開発～製造・加工～販売まで裾野の広い「食」の仕事に就いて、自分の能力を発揮できる。
- また、東西の味が交わる三重で、食の宝庫の素材を活用しながら、全国に通じる「食」を生み出すことができ、満足！

7-2. 「新しい豊かさ」の実現に向けて・・・（その2）

三重県の特長や資源

パワースポットが多い

伊勢神宮
猿田彦神社
石神さん
椿大神社
花の窟神社
産田神社
夫婦岩
二見興玉神社
伊勢志摩天岩戸
神島
赤目四十八滝
月読宮
伊勢宮
龍原宮
多度大社



三重県等の取組

パワースポットガイド
ブック作成

- ・三重県が育成したお米「結びの神」を使った婚活イベント開催
- ・MieMu（三重県総合博物館）でパワースポット企画展示

めざす姿（「新しい豊かさ」につながるイメージ）

三重県内で結婚する人が増え、三重県に来れば結婚できるといううわさが広まり、全国から若者が集まる「縁結びの県」になる。

書ききれません！

7-3. 「新しい豊かさ」の実現に向けて・・・（その3）

三重県の特長や資源

地域住民の課題となっている生活交通の確保に関し、

- 地域の課題解決に取り組むNPO法人等の活動（NPO法人生活バス四日市）

- 住民自治組織の取組（伊勢市沼木まちづくり協議会、伊賀市住民自治協議会）

- 地域の主体と連携した大学や企業の社会貢献活動



三重県等の取組

- NPO法人に対する県、市の支援

- 住民自治組織や事業者に対する市の支援

- 市町のコミュニティバスの運営

- 特区制度の活用（検討課題）



めざす姿（「新しい豊かさ」につながるイメージ）

高齢者を中心とする交通弱者の方々が、県内のどこに住んでも生活圏内の買い物や通院、通学、通勤などの移動について不便や不安を感じることなく暮らすことができる。

さらに地域外の住民の利用による交流人口の増加、都市部からの移住者の増加などにより活性化が進む。

安心して暮らす
ことができる

7-4. 「新しい豊かさ」の実現に向けて・・・（その4）

三重県の特長や資源

- ・一人で悩み自殺に追い込まれるかもしれない人たちの電話相談に取り組むNPO法人等の活動（三重いのちの電話協会）
- ・母子・父子家庭の子育て、保育・育児等の支援（NPO法人どんぐりの会）



三重県等の取組

- ・NPO法人に対する県、市の支援
- ・里親委託の推進
- ・三重県母子・父子福祉センターでの悩み相談



めざす姿（「新しい豊かさ」につながるイメージ）

- ・県内の誰もが、気軽に相談できる環境にあることで、安心して子育てができ、子育てと仕事の両立が当たり前の社会になる。
- ・全ての子どもたちが、家族や地域の方々に見守られ、交通事故や犯罪に合うことなく、安心して生活できる。

安心して暮らす
ことができる

7-5. 「新しい豊かさ」の実現に向けて・・・（その5）

三重県の特性や資源

- 子育てに適した環境
 - * 身近に豊かな自然
 - * 都市圏に比べマイホームを持ちやすい
- 家族を大切にする県民性
- 県民がそれぞれの役割分担のもとに「公」を担ってきた実績（みえ県民カビジョンで「協創」を推進）



三重県等の取組

- 「みえの育児男子プロジェクト」など男性の育児参画の普及啓発
- 「出産・育児まるっとサポートみえ」による支援
- 子育て家庭のニーズに応じた人材育成
- 知恵や熱意をもった民間の取組も多数展開（「ジイジイの知恵」を伝える孫育てグループ「ソフリエみえ」など）



めざす姿（「新しい豊かさ」につながるイメージ）

- 県内の誰もが、地域の方々や仕事の仲間を支えられて、安心して子育てでき、子育てしながら希望の仕事が続けられる。
- 多種多様な家族の絆や、地域社会の絆に守られて、全ての子どもが豊かに育っている。
- 地域の方々が、子育てに関わることで、張りのある毎日を送ることができる。

7-6. 「新しい豊かさ」の実現に向けて・・・（その6）

三重県の特長や資源

- 自然がいっぱい
- 自然学校がいっぱい
 - * 大杉谷自然学校
 - * 志摩自然学校
- 各産業で体験場所がいっぱい
- 近くに学び舎がいっぱい



三重県等の取組

- アウトドアスポーツや教育等に関連する企業等のノウハウを活用して「自然体験プログラム」を実践する活動団体等に対して支援
- 観光などに関連する企業などと連携した県内外への情報発信
- 豊富なノウハウを持つ企業と連携して小中学生を対象に職業体験イベントを開催
- まちかど博物館など

めざす姿（「新しい豊かさ」につながるイメージ）

- 子どもが、まるごと三重の探検フィールドで、生き生きと感性を育み、将来の希望を見つける。
-そして、笑顔がいっぱい

7-7. 「新しい豊かさ」の実現に向けて・・・（その7）

三重県の特長や資源

神話の時代からの歴史

- 世界遺産
 - * 熊野古道
- 全国に誇れる偉人
 - * 俳 聖 松尾芭蕉
 - * 国学者 本居宣長
 - * 国学者 谷川士清
 - * 探検家 松浦武四郎

- 伊勢・伊賀・志摩国と紀伊国の一部からなる三重の成り立ちが生む多様な文化

三重県等の取組

- MieMu（三重県総合博物館）での基本展示による紹介
- 「新しいみえの文化方針」の策定
- 文化資産を生かした街ぐるみの取組への支援
 - * おはらい町
 - * 関宿
- 県内の官民文化施設での顕彰と紹介
- 県史編纂

めざす姿（「新しい豊かさ」につながるイメージ）

- 県内外から訪れた方が神聖な雰囲気味わうことで、精神的豊かさを感じ、お互いに交流・連携することにより、新たなみえの文化を創造する。
- 県内の方が、自分が住んでいるところをより深く知ることで、三重のことを語れるようになりさまざまな方と交流が深まる。
- 県内の子どもたちが、三重の歴史・文化に触れることを通じて豊かな感性を持つようになる。

7-8. 「新しい豊かさ」の実現に向けて・・・（その8）

三重県の特長や資源

- ・我が国のものづくり産業を牽引するリーディング産業の集積
～県民一人あたりの製造品出荷額が全国1位
- ・成長分野において高い競争力を誇るグローバル企業
- ・オンリーワンをめざす高度な技術力を持った中小企業



三重県等の取組

- ・県立工業高校への専攻科の設置
- ・小中学生を対象とした職業体感事業
- ・県内企業への就職等を条件に大学の奨学金の返済を軽減・免除する制度の創設
- ・本社機能や研究開発施設の誘致
- ・おしごと広場みえの機能強化

めざす姿（「新しい豊かさ」につながるイメージ）

県内の若者が三重県に暮らしながら働きたいと思う仕事に就いて自分の能力を発揮でき、県内の企業が必要な人材を確保し競争力を高めることができる。

7-9. 「新しい豊かさ」の実現に向けて・・・（その9）

三重県の特長や資源

- 日本で初めてのバリアフリーな観光案内等を行うNPO法人の活躍（伊勢志摩バリアフリーツアーセンター）
- 平成33年に全国障害者スポーツ大会三重大会開催予定
- 障がい者の雇用を支援するNPOや事業者



三重県等の取組

- 三重県バリアフリー観光ガイドの発行
- 障がい者スポーツ競技団体の結成支援
- 障がい者スポーツ指導員の養成
- 三重県障がい者芸術文化祭の開催
- ステップアップ・カフェCotti菜（こっちな）の設置・支援

めざす姿（「新しい豊かさ」につながるイメージ）

県内の障がい者の方が、それぞれの希望に沿って、観光を楽しんだり、スポーツや芸術に取り組んだり、仕事に就いたりすることができ、自己実現が可能になる、あるいは、自立に向けたチャレンジができる。